

平成21年度 シラバス	学年・期間・区分	5年・後期・B群	
	対象学科・専攻	土木工学科	
応用測量学実習 (Training of Surveying)	担当教員	西留 清 (Nishidome, Kiyoshi)	
	教員室	土木工学科棟3階 (Tel. 42- 9119)	
	E-Mail	nisdome@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	実習 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 15回		
〔本科目の目標〕 測量学実習 に引き続き基礎・応用で、「建設省公共測量作業規定」等を参考にして、測量作業の具体的基準を把握できるように努め、路線計画を実習することにより、これらの基礎知識を会得する技術を学ぶ。			
〔本科目の位置付け〕 応用測量学実習は、応用測量学により学習した内容で実施される。			
〔学習上の留意点〕 交通工学での基礎知識及び測量学実習 で学んだ平板、レベル、トランシット器具の取扱いを完全に修得している必要がある。測量実習のできる服装で、グループ実習を行う。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標	
1. 応用測量	1	地形図の全般に関する測量方法を理解できる	
	2	平板、レベル、トランシットの使用法を理解できる	
	2	光波測距儀によるトラバース測量を理解できる	
	2	トラバース測量の内業計算ができる	
	4	座標法逆計算による路線測量（横断方向杭打設含む）を実施することができる	
	1	縦断測量及び計算を理解できる	
	1	縦断図の作成（内業）ができる	
	1	横断測量及び計算ができる	
	2	横断図の作成（内業）ができる	
	4	写真測量を実施することができる	
	2. 路線計画	2	縦断計画ができる（道路構造例における諸元設定）
		2	横断計画ができる（道路構造例における諸元設定）
		2	土工計画ができる（土量算出）
2		平面計画ができる	
2		必要用地求積図の作成ができる	
〔教科書〕 配布資料			
〔参考書・補助教材〕 測量学 岡林巧・堤 隆・山田貴浩 コロナ社			
〔成績評価の基準〕 課題レポート (90%) + 学習意欲度 (10%)			
〔本科（準学士課程）の学習教育目標との関連〕 3-c, 4-a			
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 1-3			
〔JABEEとの関連〕 (d)(2)d)			